

令和三年度文化祭  
校内短歌・俳句創作コンクール

鹿児島県立伊集院高等学校国語科

《短歌》

|     |                                 |       |      |
|-----|---------------------------------|-------|------|
| 大賞  | 自習中 ふと目が合った 扇風機 「頑張りなさい」 母と重なる  | 植村 文香 | 一年四組 |
| 準大賞 | 母の日の 手紙何度も 書き直し 素直になれず 十七の我     | 榎本 青空 | 二年四組 |
| 準大賞 | 行く春の 庭に座った 皺二つ 「何をしようか。」 笑い寄り添う | 茶園 美里 | 三年二組 |
| 優秀賞 | 雷が 鳴りやまなくて おびえる子 おへそ隠せと 笑う先生    | 梶 永梨花 | 一年一組 |
| 優秀賞 | 五月雨の 後にきらりと 目に入る 水玉がらの 蜘蛛の住み処や  | 内野 皓心 | 一年一組 |
| 優秀賞 | 大空へ 伸ばすこの腕 遠くへと 入道雲に 包まれたくて     | 新山 旺佑 | 二年一組 |
| 優秀賞 | 誕生日 いつも素直に 喜べず 平和を願う 八月六日       | 村若 聖咲 | 二年四組 |
| 優秀賞 | 暑さ増し 上がる結び目 艶光る ポニーテールの 揺れる真夏日  | 福田 梨乃 | 三年二組 |
| 優秀賞 | 春鳥賊を 釣って捌いて 盛りつける 僕の知となり 肉となるまで | 森田 悠翔 | 三年二組 |

《俳句》

|     |                    |         |      |
|-----|--------------------|---------|------|
| 大賞  | 黙考の 棋士に聞こえぬ 嵐かな    | 石牟禮 輝星  | 二年五組 |
| 準大賞 | 夏の夜 帰路やきそばの 風うまし   | 東瀬戸 蒼太  | 一年三組 |
| 準大賞 | はだしの子 歩くさまこそ 夏の王   | 前鶴 公介   | 三年四組 |
| 優秀賞 | 初夏の川 友つれ帰る おとり鮎    | 森田 優樹   | 一年四組 |
| 優秀賞 | 水を踏み 紫陽花ぬらした 帰り道   | 宮之下 茉日瑠 | 一年五組 |
| 優秀賞 | 友達の 影を蹴散らす 川面かな    | 宮下 滉基   | 二年二組 |
| 優秀賞 | 片恋の お守り代わりの 日焼け止め  | 古園 真希   | 二年二組 |
| 優秀賞 | 恋心 解きたい君の 虚数解      | 末廣 脩太   | 三年四組 |
| 優秀賞 | かきねごし 子らのにぎわい とおり雨 | 前田 光    | 三年五組 |